

今回は、本屋大賞に選ばれた作品と、そのノミネート作品を紹介합니다。図書室に全てありますので「この本、読みたい!」と思ったら、学校の再開を楽しみに待っていてくださいね

本屋大賞2020 受賞作

『流浪の月』 凧良ゆう 東京創元社

内容：家に居場所がない9歳の少女、更紗。ある日、公園で出会った青年・文に声をかけられ二人の幸せな日々が始まった。しかし2ヶ月後、文は誘拐犯として逮捕されてしまう。誘拐犯と少女の心のつながりを描いた作品。

以下はノミネートされた作品です

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢沙呼 講談社

推理作家の香月史郎と霊媒師の城塚翡翠が難事件を解決

『むかしむかしあるところに、死体がありました。』

青柳碧人 双葉社

おなじみの昔話がミステリーに

『ライオンのおやつ』 小川糸 ポプラ社

病に侵された雫は33歳のある日、余命を告げられる死と向き合う雫に感涙

『夏物語』 川上未映子 文藝春秋

出産についてさまざまな価値観を投げかける作品

『熱源』 川越宗一 文藝春秋

少数民族の生きざまを描いた歴史小説

『店長がバカすぎて』 早見和真 角川春樹事務所

書店員の苦悩と喜びが詰まった仕事小説

『ムゲンのi』 知念実希人 双葉社

眠り続ける難病と殺人事件の謎を解く

『線は、僕を描く』 砥上裕将 講談社

青年が水墨画に出会い、生きる力を取り戻していく

『ノースライト』 横山秀夫 新潮社

一家はなぜ消えたのか?建築士が謎を解き明かしていく



本屋大賞は書店員さんの投票で選ばれます

図書館のレイアウト

(ちょっぴり) 変えました



入り口に、大崎市図書館とのコラボ展示を配置しました



図書委員と教職員の

おすすめ本がたくさん!